

2019年度九州若手数学賞（受賞理由の確認）2名（あいうえお順）

## 第8回九州若手数学賞受賞者と受賞題目・受賞理由

長田翔太・九州大学大学院・数理学府博士後期課程2年

業績の題目：連続空間上の行列式点過程の離散近似とその応用

受賞理由：長田翔太氏は、離散近似を用いた「任意の行列式点過程に対する末尾事象は自明である」ことの証明や行列式点過程の拡張である $\alpha$ 行列式点過程のツリーによる離散近似などを含む研究において優れた研究成果を論文として発表している。また、日本数学会九州支部例会など国内外において積極的に講演を行っている。この様に同氏は、九州地方で研究を行っている若手研究者として、十分な研究活動を行っている。

平野 光・九州大学大学院・数理学府修士課程2年

業績の題目：数論的Dijkgraaf-Witten理論の多角的研究

受賞理由：平野 光氏は、整数論における具体的な問題を堅実に解いてゆく、いわゆるプロブレム ソルバーとしての能力が高く、学部時代にも2度の受賞歴を有すると推薦されたように優れた研究成果を論文として発表している。また、日本数学会九州支部例会に準ずる研究集会や国際学会において積極的に講演を行っている。この様に同氏は、九州地方で研究を行っている若手研究者として、十分な研究活動を行っている。